

## 第四章 分析

本章では、コントの台本（全文は巻末資料参照）を参考にし、コント中に笑いがどんなポイントで起こっているかを分析したい。なお、分析は山口さんにいただいた DVD（2011年4月23日に南砺市木崎野公民館で行われた講座の様子を収めたもの）を使用し行った。

コントの台本を分析すると、コント中に笑いが起こるポイントは大きく分けて2つあることが分かる。

### 第一節 逸脱的行動を笑う

まず1つ目のポイントは、コントの登場人物が、一般的にやってはいけないと言われていた行動（逸脱的行動）をとったところである（巻末資料のコント台本の下線部（一重下線）が該当箇所）。以下に例を2つ挙げる。

#### 例1：自分がもらった薬を他人と分け合うという逸脱的行動

『正しい薬の飲み方使い方』の巻より抜粋

登場人物

はる：おばあちゃん

あき：はるの隣に住むおばあちゃん

嫁：はるの家の嫁

（あきがはるの家を訪れ、居間で2人が薬を分け合っている）

あき「ならくれっしやいあんた、こんなちっちゃいが」

はる「あげっちゃ、ちよっこあげっちゃ」（はるとあきが薬を分け合う）

客（笑）

#### 例2：健康診断に5年間行かないという逸脱的行動

『元気ですか？あなたの胃？』の巻より抜粋

登場人物

父（友蔵）：最近胃の調子が悪いが、ここ数年検診の案内を無視している

母（はるこ）：友蔵の体調をいつも心配している

息子（ひろし）：父に検診を促している

（父と息子の居間での会話）

父「大丈夫大丈夫、ちゃんと検診行ったから、5年前に」

息子「5年前!？」

客（笑）

父「行った行った、5年前」

### 第二節 死や重い病を笑う

2つ目のポイントは、死や重い病に関するところである（巻末資料のコント台本の下線部（二重下線）が該当箇所）。先ほどと同様に、以下に例を2つ挙げる。

例1：友人の死

『正しい薬の飲み方使い方』の巻より抜粋

（はるの家で、久しぶりに2人が会う）

はる「あらー、あきちゃん！」

あき「あんたどうやいね、こないだから風邪ひいて鼻ぐしゅぐしゅやったけど、ちょっと熱下がったし、長いことあんたの顔見とらんし、あいそんなーなって来たがいぜ」

はる「そうながいとね、あんた風邪ひいておいでたやらいうて、ひどいやらいうて、やがて死なっしやるないがないかおもて…」

客（笑）

はる「私ね、香典まで準備しとったがいぜ」

客（笑）

例2：家族の死

『元気ですか？あなたの胃？』の巻より抜粋

（父、母、息子の居間での会話。母が父の死後の自分の生活を心配する）

母「ひろし（息子）、お父さん死んだらお母さんどうしようか、再婚できるかね？」（泣）

客（笑）

息子「今のうちに探しとかんな、お母さん」

母「ホンマやわ、後のこと考えとかんなん」

父「お前、そういうとこ心配せんといかんがか」

母「そうやわいねあんた、わたしの人生かかっとなるがいぜ」

このように、コントの台本を分析すると、コント中に笑いが起こるポイントは大きく分けて2つあることが分かった。次章では、これを元にこれらのポイントで笑いが起こる理由、そこで笑いが起こることによって何が起こるのかを考察していきたい。